



日本電子機械工業会規格
Standard of Electronic Industries Association of Japan

EIAJ TT-3009A

方形導波管用フランジ
Flanges for Ordinary Rectangular Waveguides

1992年3月制定
1999年3月改正

作 成

無線通信・放送標準化委員会
Technical Standardization Committee
on Radio-Communications and Broadcasting Systems

発 行

社団法人 日本電子機械工業会
Electronic Industries Association of Japan

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 形名	1
3. 形状・寸法	1
4. 結合方法	1
5. 材質とフランジ全体の寸法・肉厚	2
6. 結合ねじ及び位置決めピン	2
7. 基準穴の標準はめあい	2
8. 接触面と穴の軸	3
9. 組立	3
10. フランジ単体	3
11. 検査項目	4
付図 1 フランジ形式記号	5
付図 2~9 A形フランジ	6
付図 10, 11 B形フランジ	10
付図 12, 13 D形フランジ	11
付図 14~16 E形フランジ	21
付表 1, 2 方形導波管用A形フランジ寸法表	24
付表 3 方形導波管用B形フランジ寸法表	26
付表 4, 5, 6 方形導波管用D形フランジ寸法表	28
付表 7 方形導波管用E形フランジ寸法表	33
解説	35
1. 制定の目的	35
2. 制定・改定の経緯	35
3. 審議中問題となった事項	36
4. 主な改正点	36
5. 他の規格との関連	36
6. 規格内容の説明	38
7. フランジ接続部での反射損失	38
8. 解表3 方形導波管フランジ	41
9. 審議委員	43

日本電子機械工業会規格
 方形導波管用フランジ

Flanges for Ordinary Rectangular Waveguides

1. 適用範囲 この規格は、0.3 GHz帯から90 GHz帯までのアンテナ給電系及び電子装置に使用し、断面の内径が長辺と短辺の比でほぼ2:1の方形導波管用フランジについて規定する。

2. 形名 方形導波管用フランジの形名はつぎによる。

2.1 第1文字 : F = EIAJ導波管用フランジを表す。

2.2 第2文字 : フランジの基本構造に関するものを表す。

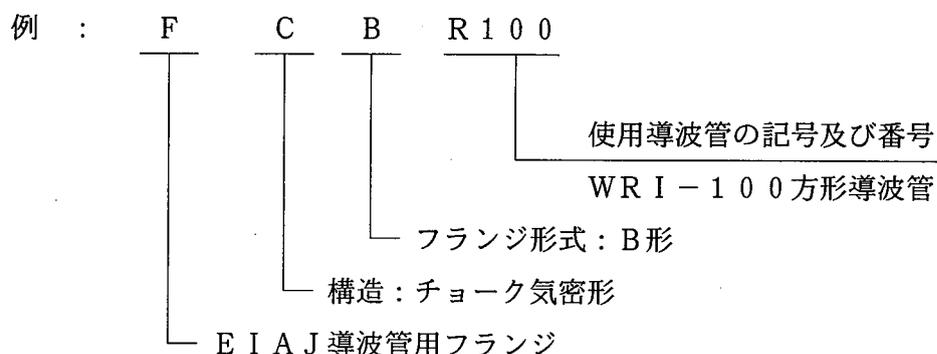
U = 非気密形 (ガスケットみぞのないもの)

P = 気密形 (ガスケットみぞのあるもの)

C = チョーク気密形

2.3 第3文字 : 形式に関するものを表す。(付図1~16参照)

2.4 第4文字と数値 : 使用する導波管の形式を表す。



3. 形状・寸法 フランジの形状・寸法は付図2~16及び付表1~7による。すべて導波管に取り付けた状態で規定する。フランジは導波管に十分強固にかつ管軸に直角に取り付け、結合面及び気密形のガスケットみぞ面は十分平らで有害な欠点があってはならない。

4. 結合方法 2個のフランジを結合するにはA形は付図2, 4, 6, 8, B形は付図10, D形は付図12, 13, E形は付図14, 15, 16に示す全ての基準穴に、図1, 表1に示すシャック付ねじ又は図2に示す位置決めピンを通して位置決めしたのち、ねじで締めつける。